



基本理念 相手の立場に立つ

令和6年10月発行

114号

協和中央病院グループ広報誌

はぐるま

総合避難訓練を実施しました

(6ページに記事掲載)



目次

ウィズコロナの時代に (協和中央病院 院長 長 弘之) ……	2
面会緩和のお知らせ ……	2
整形外科より ……	3
呼吸器内科について ……	3
新任医師紹介 ……	3
看護部通信 ……	4~5
事務部通信 ……	6
協和ヘルシーセンター 通所リハビリテーション ……	6
恒徳会だより ……	7
外来診療担当医表／編集後記 ……	8

ウィズコロナの時代に

協和中央病院
院長
長 弘之



昨年5月8日に新型コロナウイルスが感染症法の2類相当から5類に変更となり、コロナ流行以前の生活が戻りつつあります。変更初期の頃はまだまだ用心しマスク着用の方が大半でしたが、マスクも以前のように毎日の感染者数を放送することもなくなり、さらにこの夏の猛暑の影響もあって、マスクなしで外出する方が増えています。インバウンドの旅行者数や行楽地のにぎわいを見ると、世間ではコロナは終わったように感じている方も多いと思います。

しかし実際にはほぼ半年おきに流行の拡大が見られ、今年の8月はコロナ11波と言われる状況でした。現在流行中のKP.3という株は、重症化リスクは少ないのですが感染力は非常に高く、また感染しても無症状の方も少なくないため、どこで感染するか分かりません。重症化が少ないとはいえ、高齢者や病気で体力が低下した状態では重症化リスクが高いため、医療機関や介護施設では、まだまだ感染対策を継続せざるを得ない状況です。

当院では入院患者さんの面会は原則禁止としていましたが、今年5月から予約制で制限付きの面会を再開し、現在は時間を15分に限定し、予約なしで面会を許可しています。感染が院内に広がるリスクを考えると面会は禁止した方がよいのですが、やはり患者さんにとっては入院して長期間ご家族にも会えない状態は非常にストレスで、特に高齢な方では元気がなくなって食欲が低下したり、認知機能の低下も心配です。患者さんのストレスを軽減し回復を早めたいという思いから面会の再開に踏み切りました。やはりご家族と面会すると患者さんも元気が出ますし、ご家族も状況が分かって安心するご様子が見受けられますので、面会の重要性を改めて感じております。同時に、もし院内で感染が発生したとしてもできるだけ拡大させないよう、職員のマスク着用、手指衛生、必要な防護具の着用など感染対策の徹底を改めて周知しております。

コロナウイルスは、かつて撲滅された天然痘ウイルスなどとは異なり撲滅することは不可能ですので、しばらくはウィズコロナの生活が続くと思われます。今後も状況に応じて対策を検討してまいりますので、ご面会される皆様も手指衛生や体調管理にご協力をお願いいたします。

面会緩和のお知らせ

面会時間 毎日、午後3時から午後5時、1回の面会時間は15分です。

①ご面会いただける方

- 1患者1日1回、患者さんのご家族2名まで（中学生以上）
- 体調が良好な方

②ご面会方法

- 面会者用健康管理表をご記入ください。スタッフがご説明します。

③ご面会の注意

- マスク着用
- 手指衛生

④その他

- 患者さんの体調や診療、その他の都合により面会ができない場合もありますので、予めご了承ください。
- 面会后、体調不良（発熱・咳・咽頭痛等）の症状が出た場合は、病棟スタッフへ必ずご連絡ください。

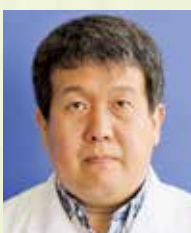
お荷物の受け渡しは、午後3時から午後7時です。
ご不明な点やご要望は、病棟スタッフにお声掛けください。
ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



協和中央病院
診療部
整形外科 部長
藤田 聡

整形外科より

当科は、骨関節の骨格系とそれを取り囲む筋肉神経系からなる「運動器」の機能的改善を目標としています。現在、常勤医師1名、非常勤医師2名の計3名で診療にあたっております。外傷は多岐にわたりますが骨脆弱に起因する骨折が多く、転倒による股関節や手関節および肩関節周囲の骨折、転倒などの受傷誘因なく生じる脊椎椎体骨折は特に受診頻度が高いです。一方、脊椎での神経圧迫によって四肢のしびれや痛みが始まり、重症化で運動麻痺を生じる脊椎疾患、関節軟骨の摩耗により関節痛を生じる変形性関節症などは日常生活動作の障害となる代表的な変性疾患です。いずれも外科的治療において、より機能回復を見込める場合には手術を検討し、術後早期からリハビリを行って早期社会復帰を目指します。休診日を含め受診制限がありご迷惑をおかけしておりますが、救急および紹介の方は可能な限り対応できる体制としております。痛み、しびれ、四肢の動きの悪さなどを自覚した際にはぜひご相談ください。



協和中央病院
診療部
内科 呼吸器科
佐多 将史

呼吸器内科について

呼吸器科のイメージはどんなものでしょうか。咳が続くとき、息が苦しいとき、健康診断で異常を言われたとき…。そんな困ったときの相談窓口として働いております。例えば咳一つを取っても、“咳喘息”と言われている/考えている方が多いようです。実際に咳の原因で最も多いのは感染症やその後遺症です。ほかにも喘息治療さえ開始できればすぐに症状が回復する場合がありますし、肺がんなど生命を脅かす可能性のある疾患なども気を付けなければなりません。問診や聴診、画像検査などその患者さんごとに必要な事項を考えてその原因を推測、対応するといった診療をしています。予約受診される患者さんでは気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)だけでなく、間質性肺炎や肺がんの患者さんを多く診療しています。

患者さんに合わせて満足度の高い医療を提供することを診療上の目標としております。火曜・木曜日に佐多が担当し、月曜日に小林先生、金曜日には洪先生が自治医大から診療支援で来院くださっております。

地域の皆様に信頼される医療機関として、これからも努力を続けてまいります。何か気になる症状がある方や、健康診断で異常を指摘された方は、ぜひお気軽にご相談ください。

新任医師紹介

入職にあたり



協和南病院
櫻井 邦彦

9月より協和南病院に勤務することとなりました櫻井です。20余年前、まだ駆け出しの頃、獨協医科大学からの派遣で非常勤としてお世話になっておりました。当時は、臨床研修医制度などなく、医師免許交付と同時に一人前の医者として扱われ、冷汗をかきながら診療にあたったことを思い出します。そんな中、病院スタッフの方々のサポートがあったからこそ、なんとか無事に任務を果たせたのだと思います。派遣交代となるときに、社交辞令とはいえ、「またいつか来てくださいね」と声を掛けていただいたのを今でも覚えておりますが、このたび縁があって戻ってまいりました。

前回勤務していた頃と比べ、科学の進歩をはじめ、世の中めまぐるしく変化しており、医療の世界も例外ではありません。しかしながら、患者様、ご家族と医療者、医療者同士といった、人と人の関わり合いが基本であることは、この先もずっと変わらないものだと思っております。今回の勤務を機にあらためて、法人の理念である「相手の立場に立つ」を肝に銘じ今後の診療にあたってまいりますので、何とぞよろしく願い申し上げます。

認定看護師による出前研修のお知らせ

協和中央病院 看護部長 高野 直江



当院では専門的な知識や技術を身に付けた認定看護師3名(皮膚・排泄ケア、摂食嚥下障害看護、認知症看護)が活躍しております。また、地域医療の活性化に貢献するため出前研修も行っております。

認定看護師が出向き、医療従事者・介護従事者を対象に、各施設のニーズに沿ってそれぞれが持つ知識や技術を分かりやすくお伝えいたしますので、ぜひ看護部高野までご連絡ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師

協和中央病院 看護管理室 副看護部長 海老原 安子

皮膚・排泄ケア認定看護師の海老原です。生活に密着している皮膚の清潔や排泄などのケアや指導を行っています。床ずれや皮膚トラブル、ストーマケア、失禁時のケアなど患者様に合わせたスキンケアの提供を院内の看護師や地域の医療者と連携し活動しています。

スキントラブル&ケアに関する相談は、患者様だけでなくご家族の方、看護や介護に従事されている方へ対応させていただきます。どのようなことでもお気軽にご相談ください。ご相談の際は、主治医、各外来ブース看護師、受付などへお声掛けください。



摂食・嚥下障害看護認定看護師

協和中央病院 看護管理室 看護師長 小河原 幸子

摂食・嚥下障害看護認定看護師の小河原です。加齢による変化や病気により、口から食べることが十分ではなくなる場合があります。体重が減少すると筋肉も減少し、飲み込む力が弱くなるため予防が大切です。口腔内の問題がある場合には歯科と連携し、栄養問題は管理栄養士と連携しながら、口から食べる楽しみが少しでも続けていけるように、多職種と一緒に支援していきます。最近むせやすくなってきた、体重が減ってきた等がありましたら、いつでも主治医にご相談ください。



認知症看護認定看護師

協和中央病院 新館3階病棟 看護師 海老沼 美智子

認知症看護認定看護師の海老沼です。認知症の方の意思を尊重し、入院生活の中でもその人らしい生活が送れるよう、お手伝いしています。病気の治療で入院された認知症の方が、入院環境になじみ、穏やかに過ごせるよう看護職員と一緒に援助しています。ご本人やご家族の意向を確認しながら、多職種と協働し、認知症の方にとってより良い療養先へつないでいけるよう活動しています。気になることやお困りのことがあれば、どんなささいなことでもご相談ください。



高校生一日看護体験を実施して

協和中央病院 北1階病棟
看護師長 木城 博美

7/29、8/5に茨城県看護協会主催の高校生一日看護体験を開催しました。車いすやストレッチャーでの移送体験では「怖かった」「患者さんの気持ちが分かった」などの声が聞かれ、患者さんの気持ちになって体験することができました。患者さんとのコミュニケーション体験では、初めは緊張していましたが、次第に緊張もほぐれ笑顔に変わっていったことが印象的でした。患者さんから「頑張ってるね」の言葉を掛けていただき、看護師を目指す学生にとって宝物になったことと思います。

今回の体験を通して、学生の笑顔や看護師になりたいという感想を聞き、私たちも活力をもらいました。短い時間でしたが、体験を通して看護の仕事について理解と関心が深まったと感じました。



手術室見学



血圧測定体験

看護補助者研修を行いました

協和中央病院 北1階病棟 看護係長 大島 真梨

看護補助者が業務を遂行するために必要な知識と、質の向上のための研修を看護係長が中心となり、7月に執り行いました。集合して講義、演習を行うことにより、日々の業務上の問題点や疑問点を話し合え、業務での迷いを解決し、学びも深まったことと思います。

看護補助者は、看護師がその専門性をより発揮するため、看護師との「協働」の重要性が増しています。看護師、看護補助者、一人ひとりが働く環境を知ることによってチームの一員としての役割を理解し、看護チームとして質の高い看護が提供できるよう研修を通して「協働」の推進に取り組んでいます。

当院では研修をはじめ、看護チームとしてサポートし合える環境も整っています。経験者のもとより、資格を必要としないため未経験者の方でも「看護補助者」にご興味のある方はお問い合わせください。



演習 感染対策 手指衛生



グループワーク 接遇研修

茨城県看護協会通常総会で2名が表彰

令和6年度 公益社団法人 茨城県看護協会通常総会(6月14日)にて表彰が行われました。

茨城県
看護協会長賞
受賞者



社会医療法人恒貴会
協和中央病院
看護師長 リスクマネジャー
鈴木 博乃



社会医療法人恒貴会
協和ヘルシーセンター
看護師長
梶川 美輝

マイナンバーカード(マイナ保険証) ご利用のお願い



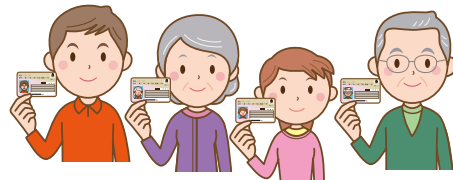
健康保険証の廃止を定めるマイナンバー法等の一部改正法について、施行期日を令和6年(2024年)12月2日とする施行期日政令が公布されました。現行の健康保険証の発行については、令和6年(2024年)12月2日より終了し、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行されます(※)。

※令和6年(2024年)12月2日時点で有効な健康保険証は、最大1年間有効とする経過措置が設けられています。(経過措置期間中に発行済保険証の有効期間が到来した場合や、転職・転居などで保険者の異動が生じた場合は失効します。)

マイナ保険証の仕組み

受付に設置してあるマイナタッチにてマイナ保険証の承認をお願いします。

- 保険証番号の確認であり、基本的に毎月の承認が必要となります。
- システム上、患者様の病院データとマイナ保険証を照合するため、受付表や診察券での本人確認が必要となります。



総合避難訓練実施

令和6年7月30日(火)、北1階病棟給湯室からの火災が発生した状況を想定し、総合避難訓練を実施しました。初期対応からの他部署間の連携、情報伝達手順の確認を実施しました。また、避難器具を使用しての避難誘導を実施し、使用手順を職員間で確認しました。参加した職員には、避難を誘導する側、誘導される側の両方の立場になり、両者の目線を学ぶことができた訓練となりました。



災害は起こらないことが一番良いですが、もし起こってしまった際には、被害を最小にするためにおののおが行動できるよう、日頃からの備えが大切だと考えます。災害時に慌てないために、物品の準備だけでなく、さまざまな想定の実験を今後も実施していきたいと考えております。今回の訓練で見えてきた課題を職員間で共有し、今回の訓練を終えました。

【防火管理者 飯泉】

協和ヘルシーセンター 通所リハビリテーション

通所リハビリテーションとは、要介護、要支援認定を受けている方が自宅から通われてリハビリテーションを受けるサービスです。当施設では、利用者に対して個別にリハビリを実施し、食事や入浴等の日常生活におけるケア、送迎サービスを行っております。今回はリハビリ内容の詳細について紹介いたします。



理学療法・作業療法

筋力や体力低下等により、身体の不自由さや日常生活に不便を感じている方に対して身体機能や日常生活動作能力を評価し、機能維持、改善が図れるようリハビリテーションを実施します。

言語聴覚療法

「話すこと」「聞くこと」等、コミュニケーションに不自由のある方や「食べること」「飲み込むこと」に課題のある方の機能維持や改善を図れるよう言語、嚥下練習を実施します。

物理療法

筋肉や関節、神経の痛み緩和やむくみの軽減を図るため、温熱治療や電気刺激治療等を実施します。

自主トレーニング

全身運動や有酸素運動のトレーニング機器を設置し、リハビリ専門職が運動内容等を提案します。



一人ひとりのお体、ご病気の状況、ご希望に応じて左記内容のリハビリを施行させていただきます。ただ今、ご利用を受け入れやすい状況です。施設見学、相談等は随時、承っております。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

協和ヘルシーセンター支援相談室：渡邊
TEL：0296-57-6030



創作活動「書道」

すみれ園

すみれ園での日中活動では創作活動の一つに書道を行っています。毎々、春夏秋冬季節に合わせたお題を選び、参加するご利用者は思い思いの個性と特色を作品に表現されています。



昨年は6名がナイスハートふれあいフェスティバル2023ナイスハート美術展一般の部に作品を出展され、1名が茨城県知事特別賞を受賞されました。書道に参加されているご利用者からも喜びの笑顔が見られ、職員も一緒にうれしい気持ちを感じました。私たち職員は、参加されているご利用者の個性に合わせて筆や身体を支える等の支援を行い、一人ひとりが思いのままの自由に表現された作品に仕上げられるよう支援をしております。



生活支援員
岩淵 真希

董授園

縁日屋台



生活支援員
渡邊 寛子

昨年、ご利用者から好評だった「屋台縁日」を今年は、さらにパワーアップさせて開催しました。会場も真夏と祭りをテーマに飾り付けしました。屋台は「焼きそば」「たこ焼き」「フランクフルト」等、定番の物から、ひと工夫し、祭りらしくした物まで12店舗用意し、各店舗をスタンプラリー方式で巡るたびにスタンプカードにシールを貼り、それぞれ鮮やかなカードに仕上がり具合を楽しんでいた様子でした。ご利用者は笑顔で食事をし、会話も弾み、スタンプラリーの景品も用意し、大変満足していただけたようです。昨年以上に盛り上がり、縁日屋台の雰囲気味わい、夏の思い出となったと思います。



納涼祭を開催しました

桃香園

新型コロナウイルスが流行してから、施設内での大規模な行事の開催を見送っておりましたが、ご利用者間の距離を取るなど感染症に留意しながら、数年ぶりに納涼祭を開催しました。お祭りということで、屋台風のメニューを中心に昼食を提供し、午後にはTV等でも活躍されているマジシャン・イリュージョニストのミーナさんをお招きし、マジックショーをご披露いただきました。本格的なマジックショーは驚きの連続で、ご利用者・職員共にとても楽しまれていました。その後、かき氷を食べながらのビンゴ大会も行い、とても盛り上がった納涼祭となりました。



久しぶりの納涼祭ではありましたが、無事に開催できたこと、そして何よりご利用者の楽しむ笑顔がたくさん見られ、とてもいい夏の日となりました。



生活支援係長
丹波 俊樹

外来診療担当医表 令和6年10月

() 専門科目

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	五味	黒川	(予約) 黒川	黒川	長	黒川
		2		長	永山		大城	長
●土曜日の脳外科は予約と紹介患者様のみとさせていただきますのでご了承ください。								
外科	午前	1	宮原	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
		2		宮原		宮原	宮原	
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	高村	海老澤 (漢方外来)	担当医
		2	正和 (循環器)	阿治部 (消化器)	木村	井上 (循環器)	磯田	種ヶ島
		3	福島	磯田	阿部田	福島	岩下 (内分泌内科)	(予約)新保 (循環器)
		5	岡田 (内分泌内科)	北川 (循環器)	磯田	阿治部 (消化器)	高村 (リウマチ)	
	7	小林 (呼吸器)	佐多 (呼吸器)		佐多 (呼吸器)	洪 (呼吸器)		
	午後 (予約のみ)	1		北川 (循環器)		小笠原 (神経内科)	岩下 (内分泌内科)	
		2	清水 (循環器内科)					
3		岡田 (内分泌内科)						
●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
専門外来	午後			加藤(土) (漢方外来)				
小児科	午前	1	(予約) 中原	(予約) 長尾		(新患予約) 中原	(予約) 中原	自治医大交代制
		2		(予約) 中原				第1 (予約) 中原
	午後	1	(予約) 中原			(予約) 中原		
		2	島野					
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。								
皮膚科	午前・午後		神賀			杉田		
泌尿器科	午前		別納	中村	神原			
歯科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2	大谷津	大谷津	大谷津	大谷津	土肥	尾田・土肥交代制
		3	尾田	佐藤	杉浦	佐藤	佐藤	佐藤
		5			佐藤	第1、3 仙名		
	午後	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	
		2	大谷津	大谷津	杉浦	大谷津	土肥	
		3	第1、3、5 尾田	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	
5	第2、4 佐瀬							
専門外来	午前	1	第3 野口			第1、3 森		

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》皮膚科

(13:00~15:30) 診療開始 14:00
 内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00
 小児科 (14:00~16:30) 診療開始 14:30

*小児科(木)・中原医師予約 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 リハビリテーション科・麻酔科
 歯科・歯科口腔外科

協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail:minami@kokikai.com

協和ヘルシーセンター

介護老人保健施設
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail:healthy@kokikai.com

大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail:yamato@kokikai.com

愛美園

訪問看護ステーション
 茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail:aibien@kokikai.com



障害者支援施設 すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail:sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設 堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設 桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail:tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム 恒幸園

茨城県筑西市向川198番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail:koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

ようやく秋の気配を感じはじめ屋外でも過ごしやすくなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

病院や施設での面会は、感染状況を見つづ基本的に対面面会が実施可能になってきています。面会者へのお願い、面会中に留意する点、面会後の対応等々でご不便をお掛けしますが、どうぞご協力をお願いいたします。

最後に、はぐるま114号を発行するにあたりましてご協力いただいた皆様ありがとうございました。(飯田)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者/黒川徳一

●編集委員/相澤明美 飯泉茂徳 杉田恵美子

野村正浩 高松紀平/飯田信宏 渡辺昌彦